



東京2020 第29回理事会 資料

決議事項

- 資料1-1 事務局規程の改正
組織委員会予算（バージョン3）
- 資料1-2 財産管理処分規程の制定
- 資料1-3 2019年度以降のオフィス計画及び定款変更等



事務局規程の改正について

2018年12月20日

事務局規程の改正について

1 目的

大会運営時の中枢機関となるメイン・オペレーション・センター（MOC）の準備を推進する観点から、事務局の機能強化を図るため、組織改正並びにこれに伴う事務局規程の一部を改正する。

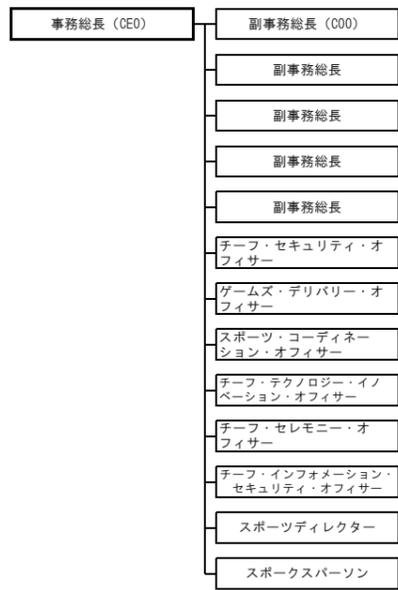
2 改正概要

- 事務局規程第2条第3項に定める事務総長の補佐機関である「経営企画・改革推進室」を改組し「ゲームズ・デリバリー室」を設置〈第4条関連〉
- 「ゲームズデリバリー室」では、大会準備運営の全体進捗管理及び業務の改善に関する事、大会運営に係る計画の連絡調整に関する事、大会期間中の意思決定及び情報共有に関する事を所管〈第4条及び第11条関連〉

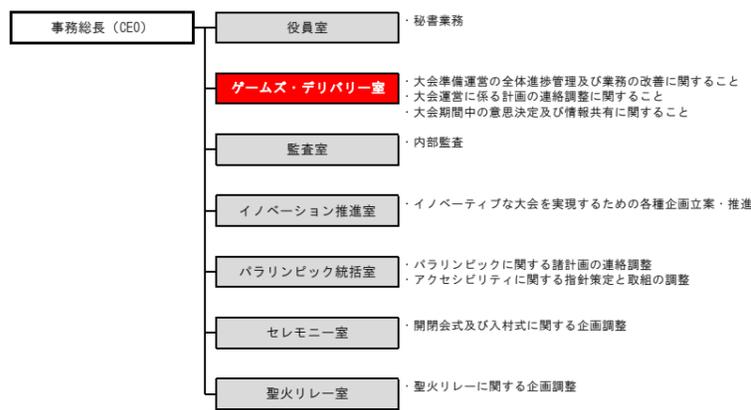
3 施行予定日

2019年1月1日

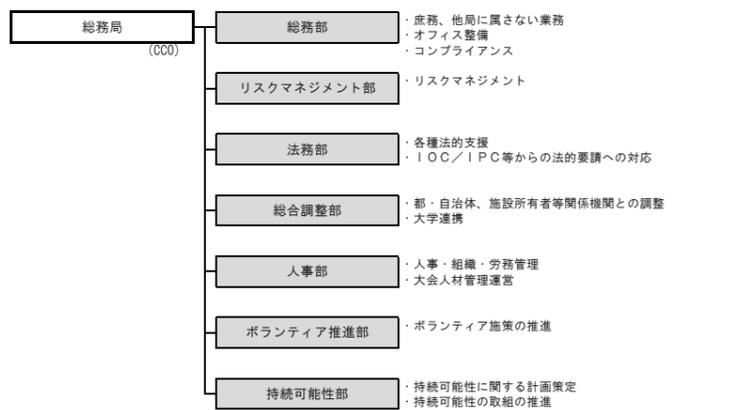
役員・特別職



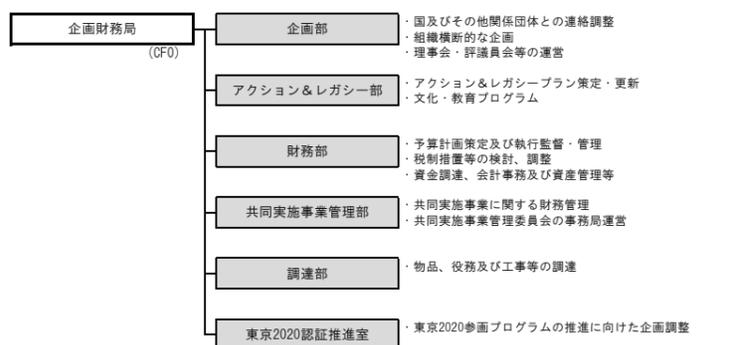
事務総長直轄課長級機関



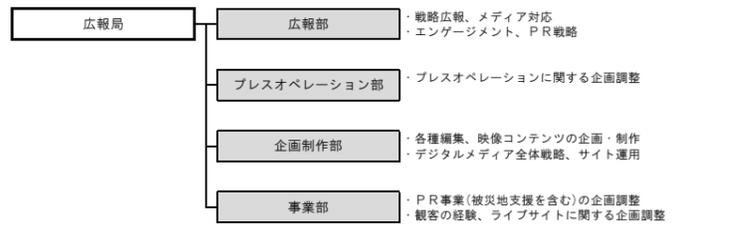
総務局



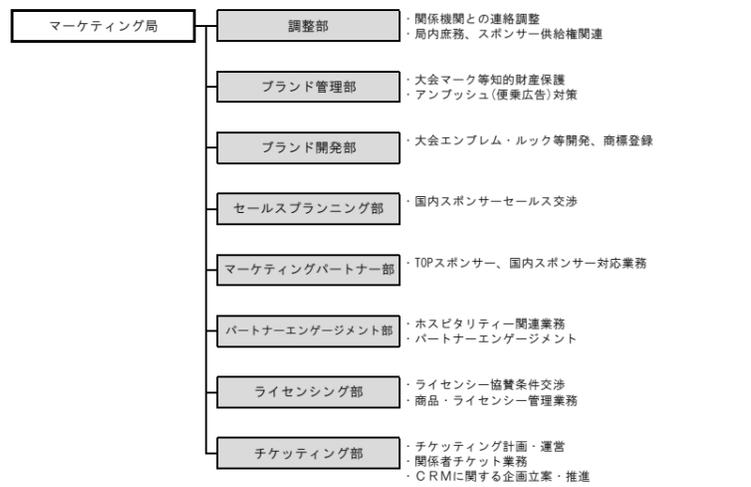
企画財務局



広報局



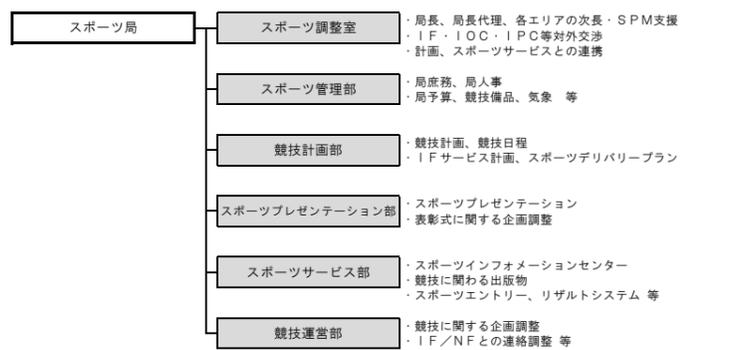
マーケティング局



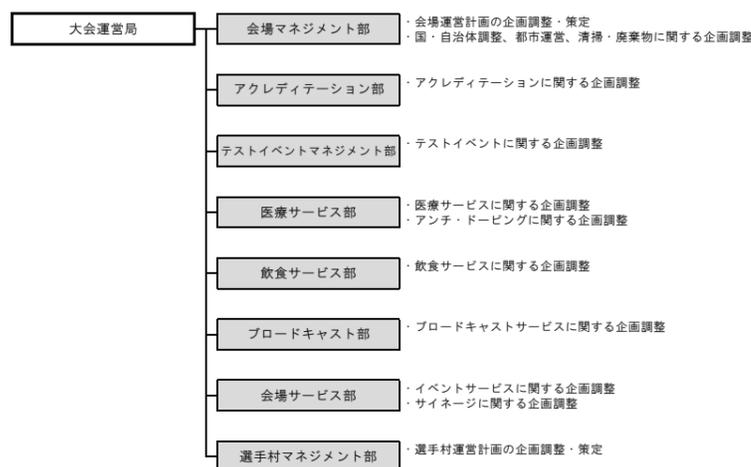
国際局



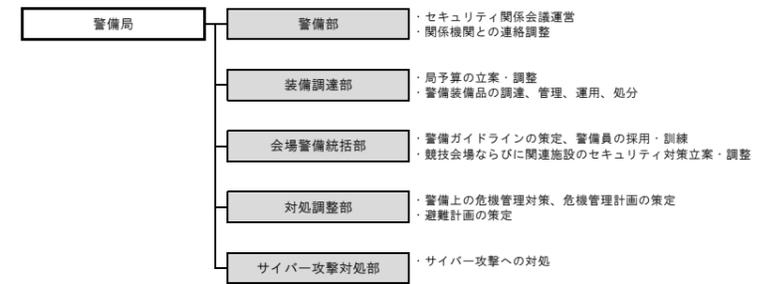
スポーツ局



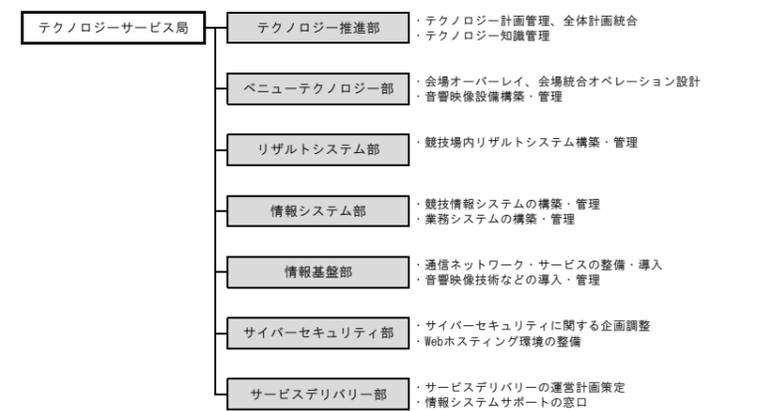
大会運営局



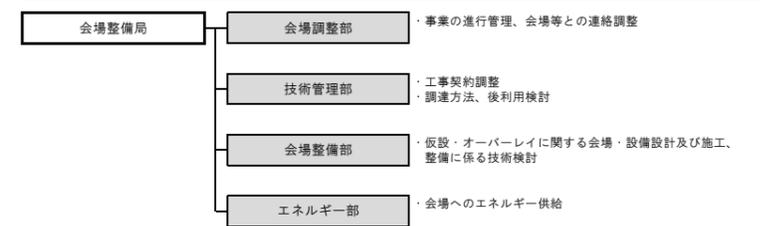
警備局



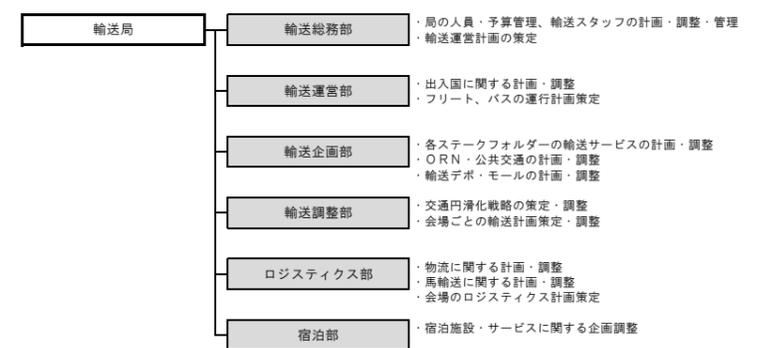
テクノロジーサービス局



会場整備局



輸送局





「財産管理処分規程」の制定について

2018年12月20日

1 決議事項

- ・組織委員会における財産の管理及び処分にかかる業務を適切に実施するため、「財産管理処分規程」を定めることについて、ご承認いただきたい。

2 背景

- ・大会開催まであと2年となり、大会に必要な資産物品の調達を本格的に進める段階を迎え、あわせて、大会後を見据えた処分の検討も必要となっている。
- ・そこで、資産物品の管理及び大会後に向けた処分の基本方針を、本規程として定める。

3 規程の構成

目的	財産の管理及び処分に関する基本的事項を定め、もって当法人の事業を適正かつ効率的に実施すること
主な内容	<ul style="list-style-type: none">●第1章 総則<ul style="list-style-type: none">・財産の区分※1●第2章 財産の管理及び処分に係る組織<ul style="list-style-type: none">・財産の管理及び処分の指導統括・分掌・財産取扱主任及び財産取扱者の設置●第3章 基本方針及び職員の職務<ul style="list-style-type: none">・財産の管理の基本方針・使用者の責務・財産の状況確認・亡失、損傷の報告・財産の処分の基本方針・財産管理処分委員会の承認・管理処分台帳による記録等●第4章 雑則

※1. 本規程における財産は、当法人が所有または借用する資産(不動産、知的財産権等)及び物品(備品、消耗品、借用動産等)に区分

TOKYO 2020

4 概要

<管理及び処分に係る組織>

- 財産の処分方法等の決定その他を、財産管理処分委員会に付議
- 各局長等は、使用する財産を管理・処分、財産取扱主任等を設置

<管理>

- 財産は、その性質や重要性を踏まえ管理処分台帳等に記録、定期的に確認

<処分>

- 財産処分は、適正な対価による譲渡を原則とし、有償譲渡困難な場合等に無償譲渡、譲渡困難な場合に委託等による再生利用や廃棄が可能

(共同実施事業等に係る財産の処分)

- 国や東京都との共同実施事業等に係る財産の処分は、関係機関との協議を踏まえて決定

- ※破損等の場合、直ちに再生利用等により処分可能
- ※開催都市契約等に基づきその債務の履行として行う財産の処分については、適用しない。

TOKYO 2020



2019年度以降のオフィス計画に伴う定款変更等について

2018年12月20日

審議事項

2019年度以降のオフィス計画に基づき、

- 1、「主たる事務所」を変更する定款変更について、評議員会へ付議すること（理事会運営規程 第10条（4））。
- 2、「主たる事務所」にオフィスを集約することに伴い、都庁オフィスを除き、その他の事務所を廃止すること（同条（7））。

1 オフィス計画

効率的な業務運営を推進するため、2019年度以降、現在5箇所に分散しているオフィスを晴海トリトンオフィス等へ集約する。

これに伴い、主たる事務所を晴海トリトンオフィスへ変更する。

- ・ 三会堂及び新宿パークタワーオフィスを、来年度から晴海トリトンオフィスへ集約
- ・ 虎ノ門ヒルズオフィスについても、夏を目途に晴海トリトンオフィスへ集約
- ・ 都庁オフィスについては、大会後も拠点とすることを見据え、引き続き活用

2 定款変更

主たる事務所の変更に伴い、下記の通り定款を変更する。

(1) 内容

(事務所)

第2条 当法人は、主たる事務所を東京都中央区に置く。

(2) 施行日

2019年4月1日

※ 定款に記載の「主たる事務所」とは「法人の事業活動の本拠として、法人を管理運営する首脳部が事業を統括し、最高意思決定を行う場所」をいう。



東京2020 第29回理事会 資料

報告事項

- 資料2-1 大会ボランティアについて
- 資料2-2 聖火台について
- 資料2-3 IOC理事会、第7回IOC調整委員会会議
- 資料2-4 大会準備の進捗状況
- 資料2-5 東京2020大会の特色、PRポイントについて
- 資料2-6 第23回ANOC総会等 概要報告



大会ボランティアについて

2018年12月20日

1. 大会ボランティア応募状況

12月19日(水) 9時30分時点

応募完了者数：153,012名

(大会ボランティアマイページ登録者数：212,491)

- 幅広い方々から応募
 - 男性4割、女性6割
 - 日本国籍6割、日本国籍以外4割
 - 10代～60代まで各世代バランスよく応募
- 11日以上活動を希望する方が6割を超える
- 直近1週間の応募では、1日平均3,800人と増加

2. 大会ボランティアの今後のスケジュール

2018年

- ・ 12月21日（金） 応募締切

2019年

- ・ 1月18日（金） 視覚に制約がある方の応募締切
- ・ 2月 9日（土） オリエンテーション（説明会・面談等）開始
- ・ 10月～ 共通研修開始

2020年

- ・ 3月～ 役割・会場通知
- ・ 4月～ 役割別研修等開始
- ・ 5月～ ユニフォーム等受取

TOKYO 2020

3. ネーミングについて

- ・ 大会の顔となるボランティアについては、愛称（ネーミング）をつけるのが慣例
※ロンドン（大会）ゲームズメーカー、都市）ロンドンアンバサダー
- ・ 東京では、参画を促す観点からボランティア応募者による投票を実施
- ・ 投票期間 12月12日（水）～1月20日（日）
- ・ 最終案発表 1月下旬予定
- ・ ネーミングは、大会ボランティア（大会スタッフ含む）及び都市ボランティアのネーミング

<ネーミング候補4案>

※アルファベット順

大会	都市
フィールド キャスト	シティ キャスト
ゲームズ アンカー	シティ アンカー
ゲームズ フォース	シティ フォース
シャイニング ブルー	シャイニング ブルー トウキョウ

TOKYO 2020

4. ユニフォームについて

- ゴールドパートナーである株式会社アシックスにて製作
コンセプト：猛暑対策・多様性と調和・持続可能性への配慮
- 生産開始：2019年5月～ 配布開始：2020年5月～
- 大会スタッフのユニフォームデザインは、コアグラフィックスの派生デザインであることが原則であり、大会全体の一体感を創出する要素のひとつ
- 大会スタッフと都市ボランティアのユニフォームとは、組織委員会と都とが共同で開発。双方のユニフォームが親和性と識別性とを有するデザインとなるよう検討
- New Normに基づき、オリンピック・パラリンピック共通のユニフォームを着用するよう、エンブレムはデュアルとする方向で検討
- 「大会スタッフ・都市ボランティアのユニフォームデザイン選考委員会」を設置し、デザイン選考中

<選考委員会日程>

- 第1回 2018年11月19日（月）～21日（水）
- 第2回 2018年12月6日（木）
- 第3回（最終選考） 2019年2月下旬～3月中旬

東京 2020 大会聖火台について

8 月以降、内閣官房、スポーツ庁、東京都、組織委員会、JOC、JPC、JSC による「聖火台の設置場所等検討会議」において、聖火台の製作台数、競技期間中の設置場所、レガシーについて検討を重ね、以下の通り方向性をまとめた。

【製作台数】

式典用と競技期間用の 2 台の聖火台を製作する必要がある。

<理由>

- ・ 開会式においてオリンピックスタジアムで聖火台に灯された聖火は、閉会式で納火されるまで灯し続けなければならない。
- ・ 競技期間中、聖火台をオリンピックスタジアム内に設置し続けることには物理的課題があり、また、式典で使用した聖火台を、聖火を消すことなくオリンピックスタジアム外へ移設することは困難であるため。

【競技期間中の設置場所について】

東京臨海部夢の大橋有明側を聖火台設置場所候補地として IOC へ提案するのがよい。

<検討の経緯>

- ・ 「チケットを持たない多くの人々が鑑賞できる、東京らしく象徴的な場所」という IOC の与件を満たす場所として、競技会場やライブサイト候補地、都内の観光名所等を検討した。
- ・ さらに設置意義、東京らしさ、会場計画等を考慮し、また設置・観覧スペースや警備・運営上の課題について検証した結果、以下の場所が最適であるとの結論に至った。

<設置場所> 東京臨海部 夢の大橋 有明側 (江東区有明3丁目付近)



<選定理由>

- ・ 東京臨海部は、東京 2020 大会から採用されたアーバンスポーツの競技会場が集中する、大会を象徴するエリアである。
- ・ チケットを持たない人を含め、多くの人の往来が見込める場所である。
- ・ IBC や MPC に近いため放送事業者の活用利便性が高く、世界各国の TV 放送を通じて大会や東京のイメージアップを期待できる。

【レガシーについて】

- ・ 式典用聖火台は、開会式・閉会式の会場であり、1964 年大会において聖火台として活用された炬火台も展示されるオリンピックスタジアムまたはその周辺に、2020 年大会のレガシーとして残されることが自然である。今後、スポーツ庁および JSC は、組織委員会と協議しながらデザインや大きさに合わせた適切な場所を検討し、レガシー管理を行う。
- ・ 競技期間用聖火台は、設置場所または関連する場所に、東京 2020 大会のレガシーとして残されることが自然である。開催都市として東京都がレガシー管理する。

【費用負担について】

- ・ 製作費・レガシー化に関する費用負担については、聖火台の具体的検討の進捗に合わせて関係者間で協議を行う。



IOC理事会及び第7回IOC調整委員会会議

2018年12月20日

(1) IOC理事会概要

- 1 開催日 2018年11月30日（金）、12月1日（土）
※ 東京のプレゼンは12月1日
- 2 場 所 グランドプリンスホテル新高輪 国際館パミール
- 3 出席者
IOC側 バッハ会長、コーツIOC調整委員会委員長、IOC理事
東京側 森会長、
武藤事務総長、
布村副総長、
中村GDO、室伏SD、伊藤CFO

(1) IOC理事会概要 (続き)

4 内 容 東京大会の進捗についてのプレゼン及び質疑応答 等

レートカードカタログ／メダル／トーチ／スポーツ／ボランティア／
国連とのSDGs基本合意／
北京2022組織委員会とのMOU合意／V3 予算策定

5 その他

レートカードカタログ、オリンピックのメダルデザイン及び関連物品、
トーチデザインについてIOCに提案し、承認を得た。

TOKYO 2020

(2) 第7回IOC調整委員会会議の概要

1 開催日 2018年12月3日 (月) ～5日 (水)

2 場 所 品川プリンスホテルアネックスタワー

3 出席者

IOC側 バッハ会長、コーツIOC調整委員会委員長、
ギラディ同副委員長、同委員、スタッフ ほか

東京側 森会長、遠藤会長代行、各副会長、
武藤事務総長、
各副事務総長、
東京都、政府、JOC、JPC
ほか



TOKYO 2020

(2) 第7回IOC調整委員会会議の概要 (続き)

4 内 容 東京大会の進捗についてのプレゼン及び質疑応答 等

<12月3日 (月) >

○オープニング全体会議

天候対策／財務／会場／輸送／テクノロジー・エネルギー／
東京2020大会のデジタルを活用した計画の策定と実施

○会場視察

<12月4日 (火) >

○分科会

アスリート&NOC／マーケティングパートナー／オリンピックファミリー／
アーバンクラスター&サーフィンフェスティバル／パラリンピック競技大会／
スポーツ&IF／観客／

<12月5日 (水) >

○分科会

会場 (神奈川県・山梨県・静岡県)

○クロージング全体会議

TOKYO 2020

コーチ委員長からのコメント (要旨)

- ・ 組織委員会は、今や実施段階に移りつつある。
素晴らしいオリンピック・パラリンピック競技大会を運営することを
確信している。
- ・ いくつかのNOC、トップパートナーも参加し、フィードバックを得る
大変良い機会となった。
- ・ 今回の成果には満足している。
いくつか課題は残っているが、
前向きにとらえていきたい。



TOKYO 2020

国際ボクシング連盟に対するIOC理事会決定

2018年11月30日、IOC理事会は国際ボクシング連盟（AIBA）に対して、ガバナンス、倫理、財務の点で未だに懸念が残るとして、調査委員会を設置し、AIBAの調査継続を決定。IOC承認団体の資格を剥奪する可能性があるものとした。最終結論は来年6月のIOC総会としている。

（IOC発表抜粋）

IOC理事会は以下の追加措置を施行する：

- 東京2020大会においてボクシング競技のための計画を凍結する。これはAIBAと東京2020組織委員会の公式な接触、チケット販売、出場資格決定プロセスの承認・実施、テストイベントの計画、競技日程の最終決定を含む。
- AIBAによるオリンピックの知的財産の使用を禁止する。これは広報宣伝及び宣伝素材のためのオリンピックリングや東京2020エンブレムを含む。
- オリンピックソリダリティ基金の選手への分配について、各国・地域のNFを通さないという条件において、凍結を解除する。
- IOC理事会は、これらの対策にかかわらず、選手を護るため、また、東京2020大会においてボクシング競技を実施するためあらゆる努力を行う。

TOKYO 2020

暑さ対策に係る競技日程の変更

今年の夏の暑さ、集中豪雨、台風等に鑑み、さらなる対応を検討する必要性が高まり、本年8月にIOC、東京2020、関係ステークホルダーからなるワーキンググループを立ち上げ、天候問題への対策やサマータイム導入に対する影響を協議。

【サマータイム】

2020年の導入については、準備期間が足りないことから見送りの方向。

【暑さ対策】

IOCの暑さ対策専門家グループからの提言を受け、選手や観客等への一層の配慮が必要な一部の競技において、下記のとおり競技時間を変更。

- ラグビー：全ての午前セッションを1時間半早め、朝9時開始。
- 自転車競技（マウンテンバイク）：1時間遅らせ、午後3時開始。

※ IOCの専門家グループの提言を踏まえ、陸上競技（マラソン・競歩）もスタート時間を繰り上げる方向で調整を進めているが、国際競技連盟からの正式合意を得る必要があるため、引き続きIFと緊密に連携し調整中。

TOKYO 2020



大会準備の進捗報告

2018年12月20日

大会準備進捗報告

1. 全体概況

- 各業務の進捗は、総じてIOC等の示すスケジュールの範囲内。また、11月末に我が国で初めて開かれたANOC（各国オリンピック委員会の連合会）総会、IOC・IPCからも高く評価。
- 他方、12月のCoCom（調整委員会）では、暑さ対策として一部競技の開始時間見直しを実施したほか、関係者輸送計画の精緻化が課題として指摘。
- 組織委が整備する競技会場等の仮設オーバーレイ工事は、競技会場、選手村及びIBC/MPCについて全て基本設計を終え、実施設計・施工等を発注済み。
- 今後の大きな課題は、会場ごとの運営体制への段階的な移行（ベニュー化）。その重要なステップとして、12月に各会場の責任者となるベニューゼネラルマネージャー（VGM）候補者を選任。

2. 主な進捗（対象期間：2018年7月～2018年12月）

	区分	時期	内容
大会運営	競技関係	7月 10月	オリンピック競技日程（セッションスケジュール）を決定。 パラリンピック競技日程（セッションスケジュール）を決定。
	テストイベント	9月 10月・ 11月	最初のテストイベントであるセーリングW杯において一部の運営テストや視察による学習を実施。 2019年6月以降に本格化するテストイベントについて、予定される56競技（種別）のうち36競技（種別）の日程を公表。
	聖火リレー	7月 9月	オリンピック聖火リレーの出発日・出発地を「2020年3月26日福島県」とすることや、各都道府県を回る順番と日程を公表。 ギリシャにおける聖火採火式、聖火引継式に関する日程、航空自衛隊松島基地への聖火の到着、「復興の火」を宮城県、岩手県、福島県の順に2日間ずつ展示することを公表。
	輸送	10月	仮に交通対策を行わなかった場合の「大会輸送影響度マップVer1.0」を公表。

大会準備進捗報告

区分	時期	内容
運営 大会 ボランティア	9月～	ボランティア募集を実施。（応募締切は12月21日(金)17時、視覚に制約のある方への応募フォームへの入力サポート対応は、2019年1月18日(金)17時まで）
機運醸成 (チケット、 マスコットなど)	7・8月 7月 8月 10月	オリンピック・パラリンピックの公式チケット価格帯を発表。 「ミライトワ」と「ソメイティ」がデビュー。マスコット派遣に関わる事務局を設置するとともに、マスコットをデザインした公式ライセンス商品の販売を開始。 大会時装飾のデザインのベースとなる「コアグラフィックス」を発表。 河瀬直美さんが公式映画監督に就任。
インフラ 整備	インフラ	～8月 12月
	選手村	7～11月 12月
その他	ガバナンス	11月 12月
	暑さ対策	9月～
	復興	7月 7月 9月 11月

TOKYO 2020

大会準備進捗報告

3. FA別の進捗における主な課題状況（対象期間：2018年7月～2018年12月）

(1) 前回報告（2018年6月）で課題ありとしたもののうち、進展が見られたもの

FA	内容
競技/IFサービス SPT	● お台場海浜公園の水質等について、水質水温調査及び水中スクリーン実験を実施し、水中スクリーンの大腸菌類に対する抑制効果等が確認できた。

(2) 前回からの継続課題及び新規課題

FA	内容
競技/IFサービス SPT	● 11月IOC理事会での「ボクシング競技の準備凍結」の決定を踏まえた対応。 ● イベントスケジュールの決定に向けた関係団体との調整。 ● 江の島セーリング会場の競技エリアについて、2018年テストイベントで検証した案を若干修正の上2019年テストイベントで改めて検証し、確定を目指す。
輸送 TRA	● 東京都、内閣官房及び組織委による「2020TDM推進プロジェクト」を開始。社会全体の取組により、道路の交通量を15%程度減（休日並み）とすること等を目指す。 ● 移動サポート（大会ボランティア）の確保。
FA横断的な課題 暑さ対策	● 2018年の異常な暑さを踏まえ、一部競技（陸上競技の一部、ラグビー、自転車競技の一部）の競技開始時間の変更についてIFと調整。【再掲】今後も国、都及び他自治体と連携した対応が必要。

※FA(Functional Area)とは、IOCが指定する業務執行の基本単位

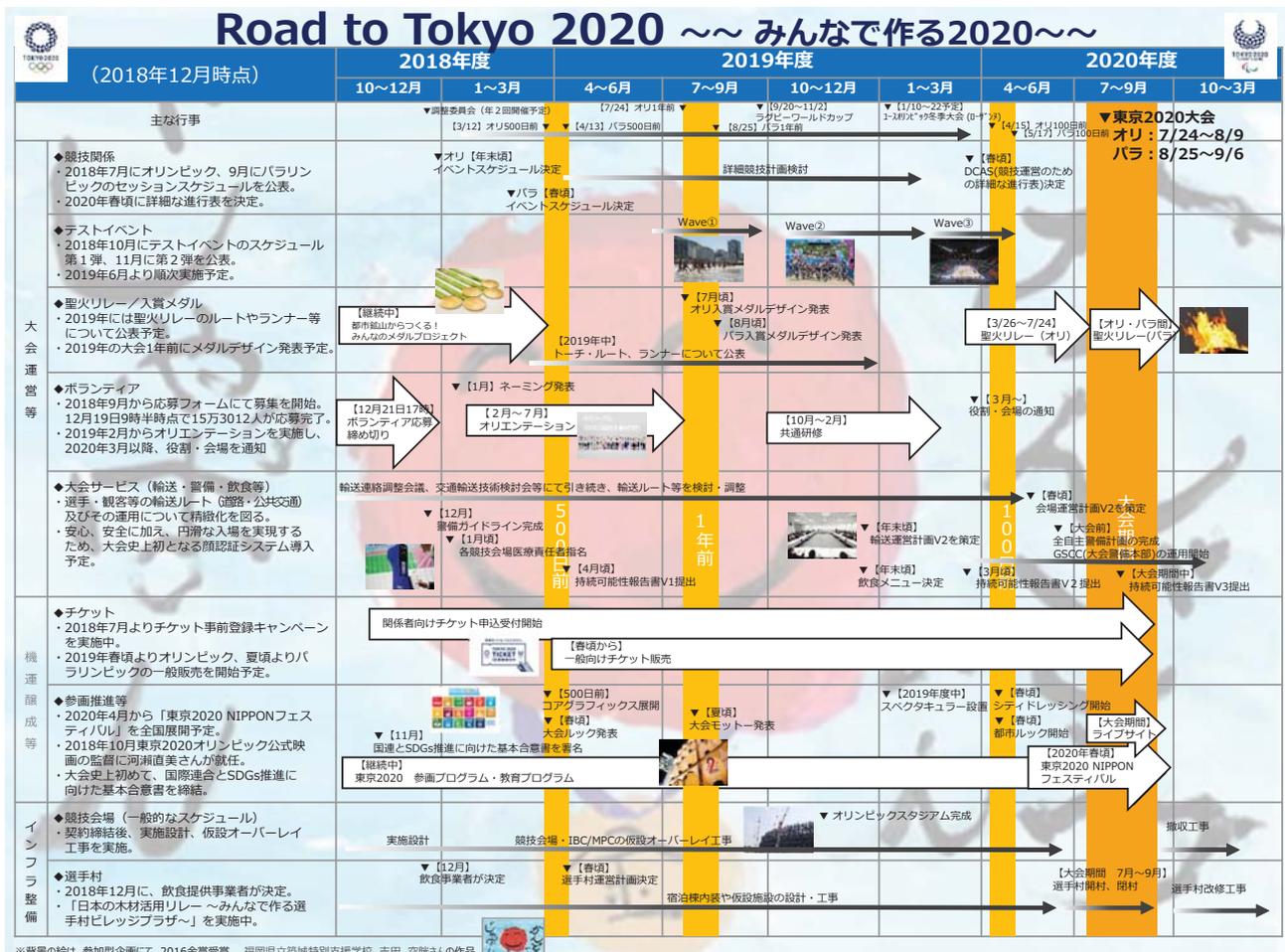
TOKYO 2020

大会準備進捗報告

4. 会場所在地域別の進捗と課題

会場所在地域	進捗と課題
ヘリテッジエリア	<ul style="list-style-type: none"> IOCの暑さ対策の専門家の検証等を踏まえ、マラソン・競歩等の競技開始時間の変更についてIFと調整。【再掲】 混雑が予想される都心部に位置するため、最寄り駅からラストマイルについて観客動線の十分な検討が必要。(観客を含めた関係者の協力が不可欠) セッション間の間隔が短く、かつ観客数の多い競技の会場(東京スタジアム)における観客の円滑な入れ替えが課題。
ベイエリア	<ul style="list-style-type: none"> 臨海部において、アーバンスポーツなどを集中して実施(お台場、青海、有明に7会場)するとともに、ノンチケットホルダーも参画できる祝祭空間の創出を検討中。 競技終了時刻が遅い会場(有明アリーナ、青海アーバンスポーツパーク)や、最寄り駅からの距離がある会場(海の森クロスカントリーコース等)での観客等の輸送に向けた調整が必要。
地方エリア	<ul style="list-style-type: none"> 会場周辺の宿泊施設が限られているため、周辺エリアを含め関係者用の宿泊施設の確保が必要。 競技会場等のある道県は9つに及んでおり、それらの関係自治体との連携が不可欠

TOKYO 2020





東京2020大会の特色・PRポイントについて

2018年12月20日

● 大会ビジョン

● 2015年2月 大会ビジョン作成

スポーツには世界と未来を変える力がある。

1964年の東京大会は日本を大きく変えた。

2020年の東京大会は、

「すべての人が自己ベストを目指し（全員が自己ベスト）」、

「一人ひとりが互いを認め合い（多様性と調和）」、

「そして、未来へつなげよう（未来への継承）」

を3つの基本コンセプトとし、

史上最もイノベーティブで世界にポジティブな改革をもたらす大会とする。

● 問題意識

- 各方面から「大会ビジョンはあるが、中身が抽象的。具体的に何が2020大会のウリ、PRポイントは何なのか。」との問いかけがある。
- IOCからも、組織委員会に対して「東京大会が、これまでの大会とどこが異なるのか、分かりやすい言葉で統一したメッセージを出すべきではないか」とのアドバイスを受けている。
- いよいよ来年は大会前年の2019年。これまでの具体的な取組も踏まえ、東京2020大会の特色、PRポイントについて、改めて認識を共有する必要があるのではないか。

TOKYO 2020

視点その1 スポーツの新たなスタイルを示す（新種目、アーバン（都市型）、テクノロジーなど）

●新しい種目

新競技として若者に人気の「スポーツクライミング」「サーフィン」「スケートボード」などを追加し、さらに新種目として「3×3のバスケット」「BMXフリースタイル」を実施

●ジェンダーイコール

男女混合種目を新規導入

（陸上、水泳、トライアスロン、卓球、柔道、アーチェリー）

史上最高の女性アスリート率

●スポーツの新しい観方

都市の中に位置するアーバンスポーツエリア、サーフィン会場でのフェスティバルなど、従来のスタジアムとは違った臨場感溢れるスポーツの観方。一体感をもたらすスポーツプレゼンテーション。

●スポーツの新しい楽しみ方

新しい映像技術を使った競技観戦、SNSなどを使った会場内外での応援など、イノベーションを駆使した新しいスポーツの楽しみ方を提供

TOKYO 2020

視点その2 全国の小学生をはじめ、多くの人々が大会の担い手に。

●エンブレム

デザイン応募に約15,000の申込。デザインからオープンな選定、審査過程のライブ配信も実施。

●マスコット

全国8割の小学校、500万人近い小学生の投票で選定。海外の日本人小学生や国内の外国人小学生も参画。全国の小学生が、オリンピック・パラリンピックの担い手に。スポーツの持つ価値の理解につながる。

●メダル

日本中で使われてきた携帯電話や小型家電を提供してもらい、そこから抽出した金属でメダルを作成。持続可能性と結びついた活動。

●ボランティア

ダイバーシティ&インクルージョンを具現化するとともに、オールジャパン、更には外国の方も含めて大会を盛り上げ成功へと導く「大会の顔」

TOKYO 2020

視点その3 東京2020大会には、日本にポジティブな未来をもたらす力がある。

●バリアフリー

ハード・ソフト両面での障がい者との共生社会の実現、国籍や性別の壁を取り払う。

●持続可能性

脱炭素社会、水素自動車、SDGs, メダルプロジェクト

●復興・平和

復興の姿を世界に、各国支援への感謝、スポーツの持つ力、復興の火、平和へのメッセージ

●テクノロジー

水素自動車、モバイルアプリ、顔認証、自動採点システム、AI、自動翻訳機、キャッシュレス

●参画意識

小学生によるマスコット投票、各年代のボランティア参加

TOKYO 2020

第 23 回 ANOC 総会 (2018/東京) 等 概要報告

1. 主 催：国内オリンピック委員会連合(ANOC) / 主 管：JOC

2. 開催期間：2018 年 11 月 26 日～30 日(5 日間)

11 月 26 日 (月)	11 月 27 日 (火)	11 月 28 日 (水)	11 月 29 日 (木)	11 月 30 日 (金)
各 ANOC 専門委員会	ANOC 理事会 各 ANOC 専門委員会 JOC レセプション(※1)	ANOC 総会 (※2) ANOC Awards (※3)	ANOC 総会	東京 2020 ベニュー ツアー(※4)

※上記の他、以下会議を IOC・東京 2020 組織委員会が開催

11 月 30 日、12 月 1 日 IOC 理事会 / 12 月 3、4、5 日 東京 2020 調整委員会

3. 会 場： グランドプリンスホテル新高輪 国際館パミール及び飛天

4. 参加者： ANOC、各 NOC、IOC、各 IF、各オリンピック大会組織委員会(OCOG)、メディア他
参加者総数

ANOC	理事	28	245
	専門委員会委員	85	
	ANOC Awards等受賞者	18	
	World Beach Games San Diego 2019	3	
	その他関係者	16	
	事務局等	95	
NOC	NOC代表者(206NOC)等	530	530
IOC	理事	7	112
	委員	8	
	名誉会長、名誉委員	2	
	専門委員会委員	2	
	事務局等	93	
IF	IF代表者(25IF)等	50	50
その他 (国外)	OCOG(2018～2028年開催の7大会)	90	223
	2026大会候補都市(2都市)	11	
	NOC大陸連合(5団体)	73	
	その他国際スポーツ組織(9団体)	18	
	オブザーバー	31	
小計		1160	

その他 (国内)	展示ブース出展者	152	233
	国内関係者(JOC役職員以外)	81	
メディア	メディア(国内)	190	261
	メディア(国外)	71	

合計		1654	
----	--	------	--

※関連イベント含む。アクレディテーション発行数に基づく JOC による集計。所属・役職が複数ある場合は ANOC 総会への登録内容を優先。

5. 主な決議

- ・ ANOC 会長選(2018-2022)について、立候補者であった Sheikh Ahmad Al-Fahad AL-SABAH 会長（クウェート）の辞退に伴い、Robin Mitchell 新上級副会長（フィジー）が会長代行を務めることとなった。
- ・ 2018-2022 年期の新 ANOC 理事について、各大陸連合、専務理事、及び各委員会委員長から推薦されたメンバーが承認された。
- ・ ANOC は、オリンピック競技大会に賞金を導入しないという IOC の立場を支持する。
- ・ ANOC は、関連国の政治的状況に関わらず、いかなる国際競技大会においても全てのアスリートの参加を認めるべきであるという IOC の立場を支持する。
- ・ ANOC 法務委員会の提案による、ANOC 倫理委員会を設立する。
- ・ ジェンダー平等委員会を設立し、HRH Prince Faisal Al-Hussein of Jordan（ヨルダン）を委員長とする。
- ・ Jan Kleiner 氏(スイス)の ANOC チーフコンプライアンスオフィサーへの就任を承認する。
- ・ ANOC は GAISF が開催する Urban Games(2018/ロサンゼルス)への IOC からの継続的な支援を求める。

6. その他

各プログラム参加者数（実際の参加者数）

JOC レセプション（11/27）※1	約 1000
ANOC Awards（11/28）※3	1011
文化プログラム（11/27-29 :11 回）	517
東京 2020 ベニューツアー（11/30 :4 コース）	275

その他

運営ボランティア	232
----------	-----

7. 各プログラム内容

※1 JOC レセプション

主な内容： ホスト NOC である JOC による総会参加者への歓迎レセプション。立食形式で、冒頭 JOC 会長、ANOC 会長、IOC 会長、東京 2020 組織委員会会長、東京都知事による挨拶とエンターテイメントを実施。

会場： グランドプリンスホテル新高輪 国際館パミール 3 階『北辰』



※2 ANOC 総会

主な内容： ANOC、IOC、今後開催されるオリンピック競技大会組織委員会、ANOC World Beach Games 等からの活動報告や今後の予定の共有、2026 年オリンピック冬季競技大会立候補都市からのプレゼンテーション等。11 月 28 日 9：00 より開会式を実施し、ANOC 会長、内閣総理大臣、JOC 会長、IOC 会長より挨拶。

会場： グランドプリンスホテル新高輪 国際館パミール 3 階『崑崙』



※3 ANOC Awards

主な内容： ANOC 総会の開催に併せて、毎年 ANOC が国際競技大会で活躍した選手やスポーツ界に貢献のあった団体等を表彰。今回は第 23 回オリンピック冬季競技大会（2018/平昌）にて活躍した選手及び NOC 等を表彰。着席夕食会形式で、各表彰の合間にエンターテイメントあり。

会場： グランドプリンスホテル新高輪 『飛天』



※4 東京 2020 ベニューツアー

主な内容： 東京 2020 組織委員会の協力により、ANOC 総会参加者の内、希望者に対するオプションプログラムとして東京 2020 大会の会場視察ツアーを実施。東京都内の各会場を中心に 15 会場、NOC ホテル等を約 4 時間かけ視察。



文化プログラム

日時： 11/27～29 で計 11 回（各 2～3 時間、4 種類）

主な内容： 総会参加者の同伴者を主な対象者とし、都内を観光するプログラムを提供。参加者は浅草、銀座、築地、両国、東京タワー、皇居等で観光や買い物を楽しんだ。



事前合宿/観光/スポンサーPR ブース・東京 2020 ショップ

日時： 11/27～30

会場： グランドプリンスホテル新高輪 国際館パミール1・2階 ロビースペース

主な内容： 自治体による事前合宿・観光 PR、今回の ANOC 総会のイベントスポンサーによる展示、東京 2020 オフィシャルグッズショップを設置。



以上



東京2020 第29回理事会 資料

配布資料

資料3-1 顧問の変更について

資料3-2 Tokyo2020スポンサー



顧問の変更について

2018年12月20日

顧問

平成30年12月20日

新	所属先役職等	旧
中西 宏明	一般社団法人日本経済団体連合会会長	榊原 定征
若林 章喜	東京都市議会議長会会長	田中 久和
清野 智	独立行政法人国際観光振興機構理事長	松山 良一
大久保 好男	一般社団法人日本民間放送連盟会長	井上 弘
中村 邦晴	一般社団法人日本貿易会会長	小林 栄三
鈴木 道子	全国公立短期大学協会会長	東福寺 一郎
立谷 秀清	全国市長会	松浦 正人



TOPパートナー及び東京2020スポンサー

2018年12月20日

TOPパートナー(平成30年12月20日時点)

	パートナー	カテゴリー
1	コカ・コーラ	ノンアルコール飲料
2	アリババ	クラウド・インフラストラクチャー/クラウド・サービス/Eコマース・プラットフォーム・サービス
3	アトス	インフォメーションテクノロジー
4	株式会社 ブリヂストン	タイヤ/タイヤ・自動車サービス/自転車(電動・モーターアシスト除く)/ 免震ゴム・樹脂配管システム等の化工品
5	ダウ・ケミカル	化学品及び原料
6	GE	発電・送配電システム/医療用画像診断・情報システム/照明機器およびシステム/ 輸送管理システム/鉄道輸送システム/航空機エンジン/オイル&ガス設備/水処理システム
7	インテル	プロセッサ/シリコンプラットフォーム/ドローン(パブリックセーフティ目的のドローンを除く)
8	オメガ	時計(例:腕時計、置時計、公式カウントダウンクロック)/計時システム・サービス/ 電子計時/計測/スコアボードシステム・サービス
9	パナソニック 株式会社	テレビ/PC/放送用・プロ用を含む音響・映像機器/AV記録メディア/カーナビゲーションシステム/ 関連のカーエンターテインメント機器/AVセキュリティ関連機器/白物家電/電動自転車
10	P&G	パーソナルケア/家事製品
11	サムスン	ワイヤレスコミュニケーション機器/タブレット及びその周辺機器/携帯電話
12	トヨタ自動車 株式会社	モビリティ(車両、モビリティサービス、モビリティサポートロボット)
13	ビザ	決済システム

※上記は全て、日本国内のカテゴリー

TOKYO 2020

東京2020スポンサー
(平成30年12月20日時点)

○ゴールドパートナー

	発表日	企業名	カテゴリー
1	平成27年1月26日(月)	日本電信電話株式会社(NTT)	通信サービス
2	1月27日(火)	アサヒビール株式会社	ビール&ワイン
3	2月18日(水)	キヤノン株式会社	スチルカメラおよびデスクトップ・プリンター
4	2月19日(木)	日本電気株式会社(NEC)	パブリックセーフティ先進製品(生体認証、行動検知・解析、ドローン)、ネットワーク製品(SDN、有線ネットワーク、無線ネットワーク)
5	2月19日(木)	富士通株式会社	データセンターハードウェア
6	3月18日(水)	JXTGエネルギー株式会社	石油、ガス、電気供給
7	3月20日(金)	東京海上日動火災保険株式会社	損害保険
8	3月20日(金)	日本生命保険相互会社	生命保険
9	3月25日(水)	野村ホールディングス株式会社	証券
10	4月6日(月)	株式会社アシックス	スポーツ用品(スポーツアパレル及び競技用具)
11	4月14日(火)	株式会社みずほフィナンシャルグループ	銀行
12	4月14日(火)	株式会社三井住友フィナンシャルグループ	銀行
13	4月20日(月)	三井不動産株式会社	不動産開発
14	10月16日(金)	株式会社明治	乳製品、菓子
15	11月26日(木)	株式会社LIXIL	住宅設備部材及び水回り備品

TOKYO 2020

東京2020スポンサー
(平成30年12月20日時点)

○パラリンピックゴールドパートナー

IOCと契約するオリンピックTOPパートナーのうち、東京2020パラリンピック競技大会の権利を取得しているパートナー

	発表日	企業名	カテゴリー
1	※	アトス	インフォメーションテクノロジー
2	※	オメガ	時計(例:腕時計、置時計、公式カウントダウンクロック)、計時システム・サービス、電子計時、計測、スコアボードシステム・サービス
3	平成28年3月10日(木)	株式会社ブリヂストン	タイヤ、タイヤ・自動車サービス、自転車(電動・モーターアシスト除く)、免震ゴム・樹脂配管システム等の化工品
4	平成28年8月25日(木)	パナソニック株式会社	テレビ、PC、放送用・プロ用を含む音響・映像機器、AV記録メディア、カーナビゲーションシステム、関連のカーエンターテインメント機器、AVセキュリティ関連機器、白物家電、電動自転車、福祉関連商品(福祉用バスルーム、福祉用洗面台、Theシャワー、福祉用ホームエレベーター)、パワーアシストスーツ
5	平成29年6月12日(月)	トヨタ自動車株式会社	モビリティ(車両、モビリティサービス、モビリティサポートロボット)、リハビリテーションロボット、ウェアブルロボット
6	平成30年8月24日(金)	P&G	パーソナルケア及びハウスホールドケア製品
7	※	アリババ	クラウド・インフラストラクチャー/クラウド・サービス/Eコマース・プラットフォーム・サービス

※アトス、オメガは、マーケティングプラン契約(東京2020とIOCの間で2014年11月14日に締結)において、東京パラリンピック競技大会の権利を付与されることが定められている。

※アリババは、IOCとの契約において、東京パラリンピック競技大会の権利を付与されることが定められている。

東京2020スポンサー

(平成30年12月20日時点)

○オフィシャルパートナー (1/2)

	発表日	企業名	カテゴリー
1	平成27年6月15日(月)	全日本空輸株式会社	旅客航空輸送サービス
2	6月15日(月)	日本航空株式会社	旅客航空輸送サービス
3	7月27日(月)	東京ガス株式会社	ガス・ガス公共サービス
4	8月10日(月)	ヤマトホールディングス株式会社	荷物輸送サービス
5	8月20日(木)	日本郵政株式会社	郵便
6	10月20日(火)	セコム株式会社	セキュリティサービス&プランニング
7	10月20日(火)	総合警備保障株式会社	セキュリティサービス&プランニング
8	平成28年1月22日(金)	株式会社読売新聞東京本社	新聞
9	1月22日(金)	株式会社朝日新聞社	新聞
10	1月22日(金)	株式会社日本経済新聞社	新聞
11	1月22日(金)	株式会社毎日新聞社	新聞
12	2月24日(水)	TOTO株式会社	水回り備品
13	2月29日(月)	三菱電機株式会社	エレベーター、エスカレーター、 ムービングウォーク
14	3月28日(月)	味の素株式会社	調味料、乾燥スープ、アミノ酸ベース顆粒、 冷凍食品、 コーヒー豆、インスタントコーヒー/ 粉・顆粒
15	3月31日(木)	KNT-CTホールディングス株式会社	旅行業務およびナショナルトリップホスピタリ ティーサービス

TOKYO 2020

東京2020スポンサー

(平成30年12月20日時点)

○オフィシャルパートナー (2/2)

	発表日	企業名	カテゴリー
16	平成28年3月31日(木)	株式会社JTB	旅行業務およびナショナルトリップホスピタリ ティーサービス
17	3月31日(木)	東武トップツアーズ株式会社	旅行業務およびナショナルトリップホスピタリ ティーサービス
18	4月15日(金)	キッコーマン株式会社	ソース(しょうゆ含む)、酢、みりん、料理酒
19	4月27日(水)	株式会社エアウィーブ	寝具
20	6月7日(火)	東京地下鉄株式会社	旅客鉄道輸送サービス
21	6月7日(火)	東日本旅客鉄道株式会社	旅客鉄道輸送サービス
22	6月9日(木)	シスコシステムズ合同会社	ネットワーク製品
23	6月23日(木)	日清食品ホールディングス株式会社	カップ麺、袋麺、チルド麺、冷凍麺
24	7月5日(火)	イー・エフ・エデュケーション・ ファースト・ジャパン株式会社	語学トレーニング
25	7月29日(金)	大和ハウス工業株式会社	施設建設 & 住宅開発
26	10月31日(月)	大日本印刷株式会社	印刷サービス
27	10月31日(月)	凸版印刷株式会社	印刷サービス
28	平成29年5月30日(火)	株式会社リクルート	人材サービス&オンライン学習及び 教育サービス
29	10月27日(金)	アース製薬株式会社	家庭用殺虫剤、虫よけ、肥料、培養土及び 除草剤
30	平成30年2月6日(火)	久光製薬株式会社	外用鎮痛消炎剤

TOKYO 2020

東京2020スポンサー
(平成30年12月20日時点)

○オフィシャルサポーター

	発表日	企業名	カテゴリー
1	平成30年1月1日(祝)	株式会社産業経済新聞社	新聞
2	1月1日(祝)	株式会社北海道新聞社	新聞
3	1月17日(水)	株式会社パソナグループ	人材サービス
4	4月13日(金)	丸大食品株式会社	ハム、ソーセージ、ウインナー、ベーコン、魚肉ソーセージ、かまぼこ、ローストポーク、スペアリブ
5	6月4日(月)	株式会社乃村工藝社	内部空間・展示空間のデザイン、設計、施工
6	8月3日(金)	パーク24株式会社	駐車場サービス
7	8月30日(木)	コクヨ株式会社	オフィス家具 & 文具
8	10月3日(水)	株式会社ECC	オフライン語学トレーニングサービス
9	10月11日(木)	株式会社AOKIホールディングス	ビジネス&フォーマルウェア
10	10月17日(水)	清水建設株式会社	施設建設・土木
11	12月3日(月)	オットーボック	治療用医療器具、リハビリ及びモビリティヘルスケア製品(義肢、装具、車いす含む)、外骨格装置 ※パラリンピック権利のみ
12	12月6日(木)	株式会社モリサワ	フォントデザイン & 開発サービス
13	12月14日(金)	Aggreko Events Services Japan 株式会社	仮設電源サービス

TOKYO 2020